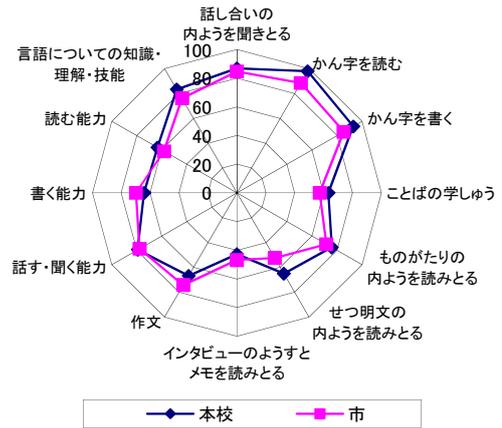


# 宇都宮市立西原小学校 第3学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞きとる	86.8	84.6
	かん字を読む	98.0	88.6
	かん字を書く	92.9	85.4
	ことばの学しゅう	63.3	57.3
	ものがたりの内ようを読みとる	75.8	71.5
	せつ明文の内ようを読みとる	65.1	52.5
	インタビューのようすとメモを読みとる	42.7	46.8
	作文	66.7	74.2
観点別	話す・聞く能力	79.3	77.8
	書く能力	64.3	69.9
	読む能力	63.5	58.2
	言語についての知識・理解・技能	83.4	76.0



## ★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞きとる	「大事なことを落とさないように聞き取ること」や「話題に沿った意見と理由を考えて話すこと」に関して、市の平均正答率とほぼ同じ結果であった。話題に沿った理由を考えて話す力は、市よりも7%高い正答率であった。	相手の話をよく聞き、話の要点を的確にとらえられるようにするために、メモを取ったり、話し手の工夫に気を付けて聞いたりできるようにしていく。 理由や根拠をはっきりしながら、自分の意見を述べたり、自分考えと比べながら話を聞く活動の場を意図的に設定する。
かん字	漢字を読むことについては市の平均正答率を10%以上上回り、ほぼ100パーセント近い正答率であった。また、「漢字を書く」についても、90%以上の正答率で、漢字の読み・書き」共に高い正答率であった。	生活の中で、学習した漢字は使うよう意識して文章を書くようにしていく。朝の学習や定期的ミニテストを行い既習漢字の定着を図るようにする。
ことばの学しゅう	平均正答率は市の平均を6%上回っている。ローマ字のつづりに関しては、市の平均を12%以上高い数値を示している。国語辞典の使い方についても市と同等の正答率であった。	国語辞典の使い方については70%程度の正答率なので、今後も普段の学習の中で国語辞典の活用を意図的に取り入れ、語彙を増やしていけるようにする。
ものがたりの内ようを読みとる	「登場人物の気持ちを読みとる」項目では、市の平均正答率を上回っている。「場面を読みとる」問題に誤答がみわれた。	色々な分野の本を紹介し、読書量を増やしていく。また、場面ごとにキーワードを見つけさせ、場面の移り変わりや、登場人物の気持ちを読みとれるよう支援していく。
せつ明文の内ようを読みとる	平均正答率は市の平均を大きく上回っている。しかし、段落の要点をとらえたり、目的に合った内容を読みとることは、誤答がみられた。	段落のつながりに着目して内容を読みとる学習や、話の要点を短くまとめる学習活動を多く取り入れる。また、国語に限らず他教科においても言語活動を取り入れ、読解力を高めていくようにする。
インタビューのようすとメモを読みとる	市の平均正答率をやや下回っている。「与えられた情報を正しく読みとる」「情報の共通点や相違点をとらえて整理する」項目で誤答がみられた。	資料を正しく読みとること、適切な言葉遣いについての理解が不十分なことから、社会等他教科でも資料の読み取りや考える習慣を身に付けられるようにしていく。
作文	市の平均正答率を下回っている。「提示された内容に沿って書く」ことについては市の平均と同等であったが、「2段落構成で書く」条件に合わせて書くことに誤答がみられた。	2段落構成の書き方については、具体的な作文指導の場面を多く取り入れ支援する。また、短作文や日記指導を継続して行い表現力の向上を図れるようにする。